

# 人あり

## 事業承継スムーズに

4月に中小企業診断士に登録され、大津市で開業した。企業に経営改善計画の策定について助言したり、創業を支援したりしており、経済産業省の「事業承継・引継ぎ支援センター」で滋賀県のエリアコーディネーターも務める。

中小企業診断士  
岡本 香さん 53

し、薬剤師ら従業員約20人を抱えた。

「父は『薬学部に入って薬局を継いでほしい』とは言わず、自分も兄も好きな道に進んだ。」ところが、旅行会社に入社して10年以上がたったある日、体調を崩した父から「家業を手伝ってくれ」と頼まれた。

兄は東京で仕事をしており、後ろ髪をひかれながら旅行会社を退職。2007年から薬局で働き始め、経理や人事などを担当した。

しかし、父が次第に、薬剤師の資格を持たない長女がトップとして従業員を率いることに限界を感じるようになってきた。知人らに事業を引き受けられるよう依頼したが、条件が折り合わずに難航した。

父の体調がさらに悪化し、代わって譲渡先の選定と交渉を担うことになった。父の最大の希望は「屋号の維持」。

創業したことへの思い入れが深かった。

交渉を重ね、調剤薬局大手が条件を受け入れてくれた。

16年3月に全株式を売却。薬局を閉鎖したら病院や患者に迷惑をかけ、混乱も招くので、承継できて良かった」と振り返る。だが、代償もあった。

事業承継への反発などから、退職者が出た。父とは経営の将来像を巡る意見の違いもあり、業界に詳しくない長女が役員を務めることを歓迎しない従業員もいた。2代目

「経営者に寄り添った支援をしたい」と話す岡本さん（大津市で）

京都市山科区出身で、小学校5年生の時に大津市に転居した。1992年に大学卒業後、旅行会社「JTBトラベランド（現JTB関西）」に入社し、国内・海外旅行を受け付ける店頭業務などを担当した。当時の営業経験が影響して畳みかけるような口調になりがちといい、今年3月から、相手の話に耳を傾け、内面にある答えを引き出すことを目的としたコーチングのセミナーに通っている。

以降の経営者は、難しい立場に置かれる。

「リスクを背負って創業するパワーはすごいと思うが、経営環境は刻々と変化していく。継ぐ人は敷かれたレールに乗ればよいだけと思われがちだが、創業者とは異なる役割を迫られる」。中小企業では子が親から経営権を引き継ぐ例が多いが、「親子だからこそ言いにくいことや聞きにくいことがあり、率直な意見交換が難しい」と言う。

中小企業診断士を志したの

は、事業承継の経験をいかしたいと考えたからだ。経営者の親子や親族の間に入り、第三者の立場で冷静に助言して、取引先や従業員に最適な道筋を探る。「承継が滞れば将来性に疑問を持たれ、資金調達にも支障が出る。会社が存続できなければ、多くの人に悪影響が及ぶ」と強調する。

「経営は人間関係などにも左右され、必ずしも理屈通りにはいかない。経営者の重圧や孤独を経験したからこそ、できる支援をしたい」。その思いに突き動かされている。

(井戸田崇志)

山川会長（左端）らを前に、次世代代表として提言する片岡さん（守山市で）

山川会長（左端）らを前に、次世代代表として提言する片岡さん（守山市で）

山川会長（左端）らを前に、次世代代表として提言する片岡さん（守山市で）

山川会長（左端）らを前に、次世代代表として提言する片岡さん（守山市で）

山川会長（左端）らを前に、次世代代表として提言する片岡さん（守山市で）

山川会長（左端）らを前に、次世代代表として提言する片岡さん（守山市で）

山川会長（左端）らを前に、次世代代表として提言する片岡さん（守山市で）

山川会長（左端）らを前に、次世代代表として提言する片岡さん（守山市で）

山川会長（左端）らを前に、次世代代表として提言する片岡さん（守山市で）

山川会長（左端）らを前に、次世代代表として提言する片岡さん（守山市で）



「経営者に寄り添った支援をしたい」と話す岡本さん（大津市で）

京都市山科区出身で、小学校5年生の時に大津市に転居した。1992年に大学卒業後、旅行会社「JTBトラベランド（現JTB関西）」に入社し、国内・海外旅行を受け付ける店頭業務などを担当した。当時の営業経験が影響して畳みかけるような口調になりがちといい、今年3月から、相手の話に耳を傾け、内面にある答えを引き出すことを目的としたコーチングのセミナーに通っている。

(井戸田崇志)

自民県車 前事務局長告訴へ

布地のことなら... 株。ピーターパン 7-558-7100

山川会長（左端）らを前に、次世代代表として提言する片岡さん（守山市で）